

経営比較分析表（平成30年度決算）

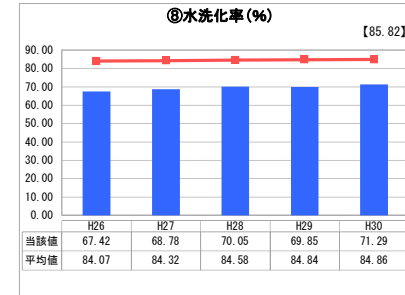
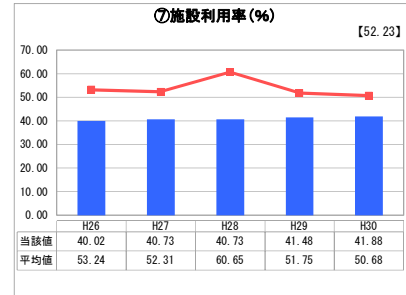
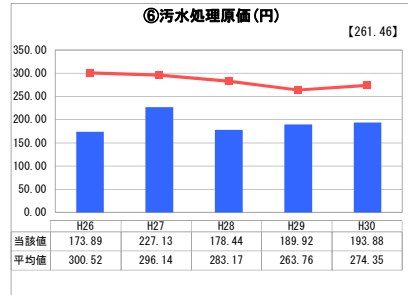
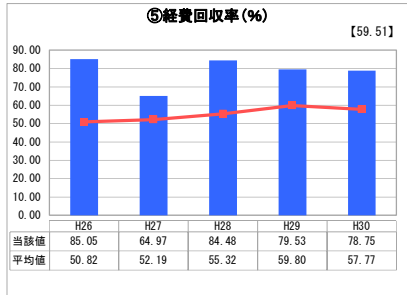
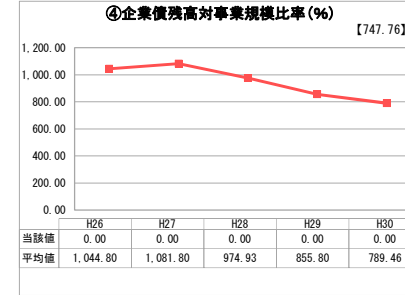
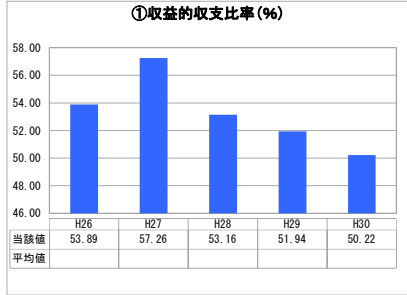
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	49.28	100.00	3,673

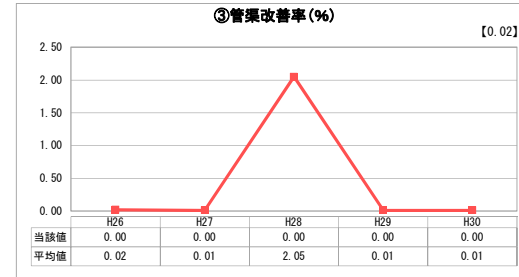
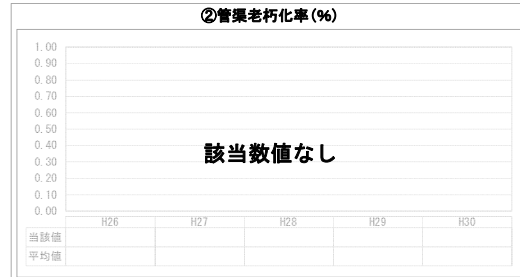
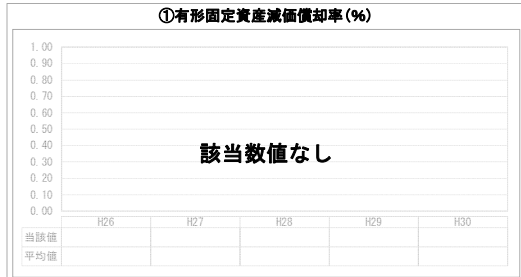
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,226	33.41	336.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,528	2.82	1,960.28

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益の収支比率
施設の老朽化が進み、維持管理費が年々増加していることから、前年度に比べ収益の収支比率はわずかに減少している。経年比較では平成27年度以降減少傾向となっていることから、使用料収入の確保等の経営改善に向けた取組みが必要である。
- ④企業債残高
地方債残高の全てが一般会計負担額のため、当指標は0となっている。
- ⑤経費回収率
前年度に比べ料金収入は微増したが、施設の老朽化に伴う、維持管理費の増加等により汚水処理費が増加したため、経費回収率が減少している。経年比較では平成28年度以降減少傾向となっていることから、未接続世帯への加入促進等使用料収入の確保に向けた取組みが必要である。
- ⑥汚水処理原価
前年度に比べ年間有収水量は微増したが、施設の老朽化に伴う、維持管理費の増加等により汚水処理費が増加したため、汚水処理原価も増加している。
- ⑦施設利用率
類似団体と比較するといずれも低い数値となっている。今後も引き続き通知文書の送付等により未接続世帯への加入促進を行い、施設利用率及び水洗化率の増加に向けた取組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

美里町の農業集落排水事業は平成7年度に十条処理区、小栗処理区、平成9年度に広木処理区、平成10年度に沼上処理区、円良田処理区、平成16年度に駒衣処理区、平成25年度に南部中央処理区が完成し、全7処理区が供用開始となっている。すでに半数以上の処理区が供用開始から約20年経過しており、施設の老朽化により維持管理費、修繕費が増加傾向にある。機能診断や最適整備構想を基に適正な機能保全を行い、既存施設の長寿命化に努め、維持管理等に要する費用の削減を目指す。

全体総括

類似団体と比較して施設利用率・水洗化率が低いことから、未接続世帯への加入促進等により接続率を向上させ、使用料収入の確保に努める等経営改善に向けた取組みが必要である。
また、施設の老朽化や将来人口の推移を踏まえ、計画的な施設修繕や処理区の統廃合等を検討し、効率的な事業運営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。